

原水爆禁止2020年世界大会開催おめでとうございます。

核兵器の廃絶を心から願うとともに、本大会の御成功を祈念申し上げます。

静岡県伊東市長

小野 達也

## 激励のメッセージ

原水爆禁止二〇二〇年世界大会の開催にあたりまして、皆様のためぬご努力に対し、心より敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

戦争や核兵器の使用という手段をもって、平和な社会の実現はありえない、と多くの人々が考えているにもかかわらず、現在、世界ではさまざまな核兵器に関する動きがあり、予断を許さない状況が続いております。

このような時代だからこそ、被爆国であるわが国といたしましては、広島・長崎での悲劇を決して忘れることなく、二度と悲しみが繰り返されぬよう世界中に発信していかなくてはなりません。

三島市におきましても、昭和三十四年十二月二十一日に平和都市（核非武装）宣言を決議して以来、平和の尊さを深くかみしめ、悲惨な戦争が再び起こらないことを心から願い平和都市実現のための運動を行っております。戦争を語り継ぎ、戦争による人々の苦しみ悲しみを風化させないために、毎年八月を平和都市推進月間と位置付け、戦争犠牲者の冥福を祈るサイレン吹鳴や市民へ平和の呼びかけを行う街頭啓発、市庁舎への懸垂幕の掲出など、様々な事業を展開しております。

今年度は、コロナウイルス感染拡大の影響により、広島市平和祈念式中学生派遣事業を中止にいたしました。平和の尊さを次世代に継続して伝えていくため、派遣事業に代わる取組として戦争の悲惨さを伝えるパネル展を市内小中学校において実施しております。

皆様のご努力の成果が、核兵器の廃絶、また、日本及び世界の恒久平和の実現につながりますことを心よりお祈り申し上げます。

令和二年八月

三島市長 豊岡 武士



## 「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」激励メッセージ

被爆者とともに、核兵器廃絶・世界平和を訴え、「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」に取り組まれている皆様に、心から敬意を表します。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから七十五年が経ち、被爆者の高齢化により、悲惨な体験と平和への思いを語り継ぐことが困難となり、後世への継承が危惧されています。

富士宮市では、昨年、「核兵器廃絶平和都市宣言」制定三十五周年を記念して、市内の公立中学校の代表生徒を広島市へと派遣し、平和記念資料館や似島を訪問し平和の大切さを学びました。

また、市内の各所に、平和へのメッセージを込めて造られた「核兵器廃絶平和都市宣言」の標柱を設置し、当市を訪れる人々に核兵器廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

世界の各地では、未だ紛争やテロ行為が後を絶たず、真の平和への道のりは依然として厳しい状況です。

さらに、新型コロナウイルスにより、人々が感染の恐怖と不安に襲われている今、原水爆禁止世界大会のオンライン開催により、世界中の非核平和を願う人々が一同に繋がることは、大変素晴らしいことです。

結びに、本日の大会が、世界の核兵器廃絶の実現へ向け、大きく寄与されますことを、心より祈念申し上げます。

令和二年七月

富士宮市長 須藤 秀忠

原水爆禁止2020年世界大会の開催に当たり、日ごろから核兵器廃絶に向けて、たゆまぬ草の根の運動を続けておられます皆様方に、心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の脅威に直面し、活動が困難な状況でも、「核兵器の廃絶を」と願い、声を上げ、世界中の誰もが行動している中、地球上には今もなお、核兵器の保有を継続しようとする国や、核兵器を新たに持とうとする国が存在します。

世界中に真の平和をもたらすため、そして次代を担う子どもたちの明るい未来のために、地球上からの核兵器全面廃止に向け、私たちはそれぞれの立場で鋭意努力し続けなければなりません。

富士市は、1985年に核兵器廃絶平和都市宣言を行い、1986年に日本非核宣言自治体協議会、2008年には平和市長会議に加盟し、全国の仲間とともに核兵器廃絶のための運動を進めております。

本年度も、「ミニミニ原爆展」を8月3日から14日にかけて市庁舎で開催し、パネル展示を通して多くの市民に核兵器の恐ろしきや悲惨さを発信してまいります。

今後、全世界に非核の運動がより根強く浸透するためにも、この原水爆禁止世界大会の果たす役割はますます重要であり、この大会から発信される多くの人の願いが、核兵器廃絶の力となることを心から期待しております。

結びに、本大会のご成功と、皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

令和2年8月

富士市長 小長井 義正

## メッセージ

本日ここに原水爆禁止二〇二〇年世界大会が、多くの皆様のご参加により盛大に挙行されますことを心よりお祝い申し上げます。

核兵器や戦争のない世界は、世界人類の願いであり、私自身も心から望んでいるところ  
です。

新型コロナウイルス感染症に対し、世界中の国々が協力して困難を乗り越えようとしている中で、核兵器という人類共通の脅威に対しても、国境を越えて立ち向かうことができないはず  
です。

一日も早く世界から核兵器が廃絶され、恒久平和が実現されることを心より念願するとともに、皆様方のますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

令和二年八月

静岡県牧之原市長 杉本 基久雄

原水爆禁止

二〇二〇年世界大会が

力強く開催されますことを

お喜び申し上げます。

また、原水爆犠牲者の皆さまの

安らかなるご冥福を

心からお祈りいたします。

今大会の開催が

核兵器のない平和な世界の

実現に寄与されますよう

祈念いたします。

袋井市長 原田英之

「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」の開催にあたり、関係者皆様のご尽力に、心より敬意を表します。

裾野市は、平成 27 年 12 月 9 日に「平和都市」を宣言し、未来を担う市内中学生の代表を広島市へ派遣しております。派遣された中学生が、体験したことや平和について感じたことを他の生徒にも伝えることで、戦争の記憶を風化させることなく平和への思いを共有しております。

これからも、市民の恒久の平和を願う心、たゆまぬ努力の積み重ねにより、誰もが健康で文化的な豊かさを享受できるまちの実現に向け、邁進してまいります。

結びに、この度の世界大会が、核兵器のない平和な世界の実現にむけて大きく寄与されることをご祈念申し上げます。

令和 2 年 7 月 27 日

静岡県裾野市 高村 謙二

「原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)」の開催にあたり、核兵器のない世界を実現するとの願いのもと活動されている皆様のご活躍に、心から敬意を表します。

本市では、平成15年12月4日、「核兵器廃絶平和都市」を宣言いたしました。また、平成23年1月1日には「平和首長会議」への加盟都市として認定され、世界各国の都市と力を合わせて、核兵器のない平和な世界の実現に向け取り組んでいるところであります。さらに、御殿場市議会においては、平成27年3月に「核兵器全面禁止のための行動を求める意見書」を決議され、内閣総理大臣などに提出されております。

核兵器廃絶、世界平和の実現は、すべての人々の願いであり、これからも平和都市宣言のとおり非核三原則を遵守し、真の恒久平和を実現するため、すべての国の核兵器の廃絶を訴えてまいります。

このたびの世界大会が、世界平和の実現を願う人類にとって、新たな決意のきっかけとなり、これからの新しい動きへの原動力となりますことをご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

令和2年7月3日

静岡県御殿場市長 若林洋平



## メ ッ セ ー ジ

新型コロナウイルス感染症の影響により、「原水爆禁止2020年世界大会」がオンライン開催となりましたが、大勢の皆さまの御参加のもと、盛大に開催されますことに深く感謝と敬意を表します。

現代に生きる私たち日本国民には、尊い犠牲によってもたらされた今日の平和と繁栄を永久に守り、核兵器も戦争もない平和な社会を構築する責務が課せられております。

今年は、被爆及び国連を創設してから75年の節目に当たり、皆さまの行動が、核兵器廃絶、恒久平和実現へと導いてくださる確かな歩みとなりますよう念願するものであります。

結びに、核兵器のない世界を現実のものとするため、実り多き大会となりますよう祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

令和2年8月2日

静岡県御前崎市長 柳澤重夫

## 「原水爆禁止 2020 年世界大会」へのメッセージ

世界唯一の被爆国として、世界へ核兵器廃絶に向け、行動を起こすことで、核兵器のない平和な世界へと邁進していくことを願っております。

また、核兵器をはじめとする武力の使用並びに保持の廃絶は世界平和を目指すため、大変重要なものであると認識しております。

平和で安全な世界への第一歩として「原水爆禁止 2020 年世界大会」の御成功と、皆様の益々の御活躍、御健勝を心から祈念申し上げます。

下田市長 松木 正一郎

## 「原水爆禁止2020年世界大会」メッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、新型コロナウイルスの感染拡大により社会活動が制限されている中、核兵器廃絶へご尽力いただいております関係各位に対しまして、深く敬意を表します。

2020年は核兵器不拡散条約締結から50年を迎える節目の年です。現在、核軍縮に対する認識に各国間でギャップが生じており、4月の再検討会議の開催が待たれていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して延期となりました。平成17年に非核平和都市宣言を決議した伊豆市としましても、新たな日常を取り戻し、恒久平和を実現するための動きが世界中で加速することを切に願っております。

結びに、本大会にご参加される皆様のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

令和2年8月

伊豆市長 菊地 豊

## メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会が盛大に挙行され、成功されますことを心からお祈り申し上げます。

また、日頃、戦争と核兵器のない平和な21世紀を築くため、活発に献身的な活動をされている皆様方のご努力に対しまして、深く敬意を表します。

広島・長崎の被爆から今年は75年目でございます。どれだけの年月が流れようとも、広島・長崎を先頭として、「日本」から地球規模の「核兵器の廃絶」「戦争のない平和な世界を」の声を世界に発信し、悲劇を再び繰り返さないよう呼び掛け続けていくことが大切だと思っております。

今後とも、明るく平和な社会を築くため、ご貢献されますようご期待申し上げますとともに、皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

2020年7月

静岡県吉田町長 田村典彦

原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）の開催にあたり、ご尽力された皆様方のご活躍に、心から敬意を表します。

長泉町では平成 18 年に「非核平和都市宣言」を行い、この水と緑豊かな郷土と平和な生活を次の世代に引き継いでいくとともに、核兵器廃絶や世界平和の実現を訴えております。特に戦争を知らない若い世代の方々に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の大切さを知ってもらうために毎年町内の中学生代表を広島に派遣し平和研修を行っております。

日本は世界唯一の核被爆国であり、日本から核兵器廃絶と世界平和の声を世界中の方々に届けていくことが重要であります。広島・長崎への原子爆弾投下から 75 年の節目にあたり、この機運がさらに高まることを願い平和へのメッセージといたします。

長泉町長 池田 修

原水爆禁止二〇二〇年世界大会開催に際し、関係者各位の  
ご尽力に、敬意を表します。

我々は、常に核兵器の廃絶と、平和について考え行動しなけ  
ればならないと思っております。

西南町は平成六年六月二十三日「核兵器廃絶平和都市宣言」  
をしており、これからの子ども達に恒久的な平和な暮らしの大切  
さを教え残していくことに務めなければなりません。

また、平成二十四年三月一日には、原子爆弾による悲劇が二  
度と繰り返されてはならないとの信念のもと、都市の連帯を通  
じて、核兵器のない平和な世界を実現することを目的に平和市  
長会議に加盟いたしました。

今年には新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、はじめ  
てのオンライン開催となりましたが、これをきっかけに、世界  
各国の平和への願いを強固なものにし、本大会や関連する催し  
が、その実現のために大きく寄与されますことを、心からご祈  
念いたします。

本筆ではございますが、貴実行委員会様及び会員様の今後  
益々の活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和二年八月

西南町長 仁科 喜世志

